

高等学校公民科（政治・経済）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	3, 5	2つとも合っているものだけを正答とする。	6
	2	4		6
	3	5		6
	4	1		6
	5	2		6
	6	3		6
	7	5		6
	8	4		6
	9	1		6
	10	6		6
	11	3		6
2	1	(1) 6		6
		(2) 3		6
	2	1		6
	3	4		6
	4	1		6
			66	
			30	

高等学校公民科（政治・経済）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	2	6	24
	2	4	6	
	3	3	6	
	4	3	6	
4	1	4	6	24
	2	1	6	
	3	3	6	
	4	3	6	
5	1	14.9	5	20
	2	<p>メモから、2000年度から2017年度にかけて、GDPは増大しているが、資料からこの間の入口段階の総物質投入量と出口段階の最終処分量及びその物質フロー全体に占める割合は低下し、その一方で、循環利用量とその物質フロー全体に占める割合は増加している。</p> <p>このように必要とされる財を生み出すに当たって入口段階で必要とされる物質と出口段階で最終処分される物質を抑えつつ循環利用される物質の量と割合を高めるような社会を「循環型社会」という。</p>	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	
6	1	1	5	10
	2	4	5	

高等学校公民科（政治・経済）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
7	<p>農家の付加価値は生産総額 20 兆円から石油輸入を引いた 15 兆円である。また、製粉所の付加価値は生産総額 40 兆円から中間投入の 20 兆円と石油輸入 10 兆円を引いた 10 兆円である。さらに製パン会社の付加価値は生産総額 80 兆円から中間投入 40 兆円と石油輸入 15 兆円を引いた 25 兆円である。これらを合計した 50 兆円が架空のA国のGDPとなる。</p> <p>生徒への指導として、まず、GDPの意義を理解させる。GDPは、国内総生産と呼ばれ、一定期間内に国内で生産されたすべての財・サービスの付加価値の総額である。次に、生徒の計算の過程を基に、GDPの理解を深めさせる必要がある。この生徒は、単に生産総額を合算しているか、それでは外国の石油企業の生産活動の結果を合わせて計算することになり、A国内での経済活動の指標とはならないことをまずは理解させる。</p> <p>次に、この生徒は、農家、製粉所の生産額を二重に計算しており、二重計算を含む金額では、各生産主体が付加的な価値の生産にどの程度貢献したかを示す指標とならないことを理解させ二重に計算させない計算式を立てさせる。</p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	10	26
	<p>企業で生産された付加価値(100)は、生産要素を提供した家計(95)と法人支払い先の政府(5)に分配される。</p> <p>家計はそれを消費(60)、貯蓄(25)、所得税(10)のいずれかにあてるが、そのうち貯蓄は金融市場を経て、企業、政府、海外部門に融資され、支出に転化される。そのため、</p> <p>分配面からみた国内総生産については、生産要素提供への見返り(95) + 法人税(5) = 100</p> <p>支出面からみた国内総生産については、消費(60) + 投資(17) + 政府支出(20) + 財・サービス収支黒字(3) = 100 となる。</p> <p>以上から、分配面からみた国内総生産と支出面からみた国内総生産は等価である。</p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	16	